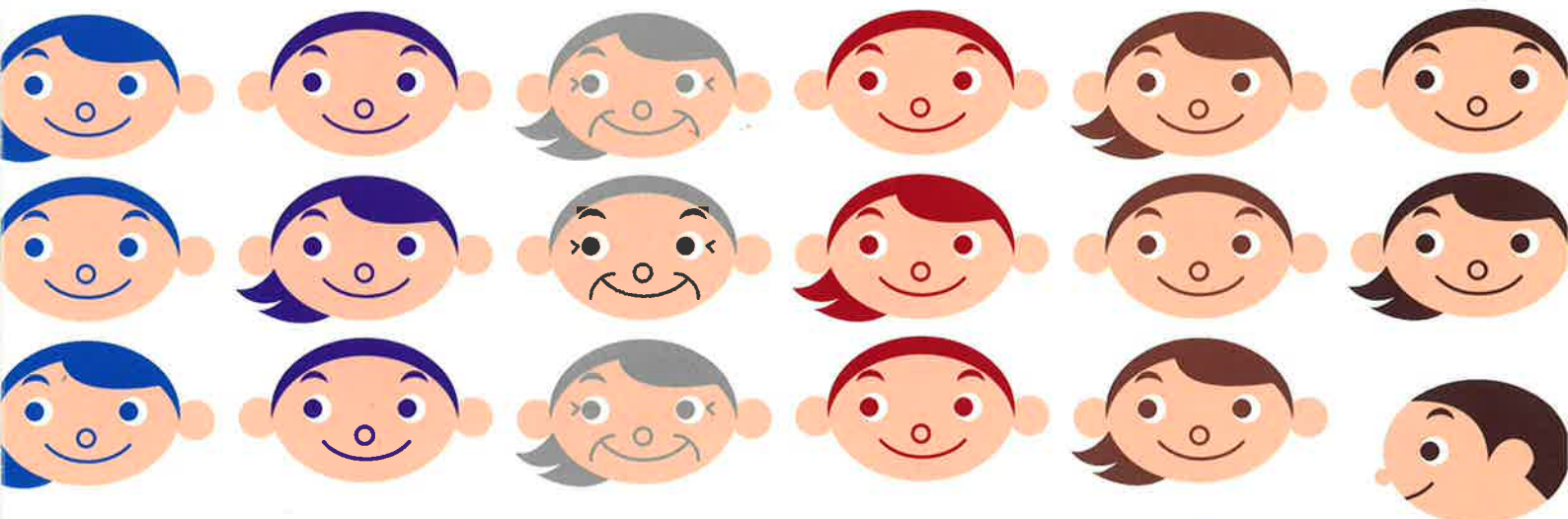


急性白血病の治療を受けた皆さん



病気で変わったことは？ 退院後どうしてですか？ 体調は戻りましたか？ 心配なことはありますか？

退院後の生活の質に関する アンケート調査に ご参加ください！

調査期間
2011年8月から
1年間
(2012年7月末日
アンケート参加受付分まで)



国立がん研究センター中央病院 急性白血病QOL調査チーム

急性白血病の治療を乗り越えて退院した皆さん、 今どうしていますか？

病気を克服したのはうれしいけれど、“ここが困っている”“もっとこうだったらいいのに”ということ、ありませんか？

治療を担当する私たち医師・看護師は、がんばって治療を乗り越えた皆さんが、どんな風にごされているのか、元の生活に戻られたのか、治療前と比べて変化があったか、なにか困っていることはないか、ということをととても気にしています。

通院中の方は、外来主治医に相談しにくいこと・伝えにくいことがあるかも知れませんね。すでに外来通院を終えた方は、生活の中で困ることがあっても、「しょうがない」と我慢していませんか？

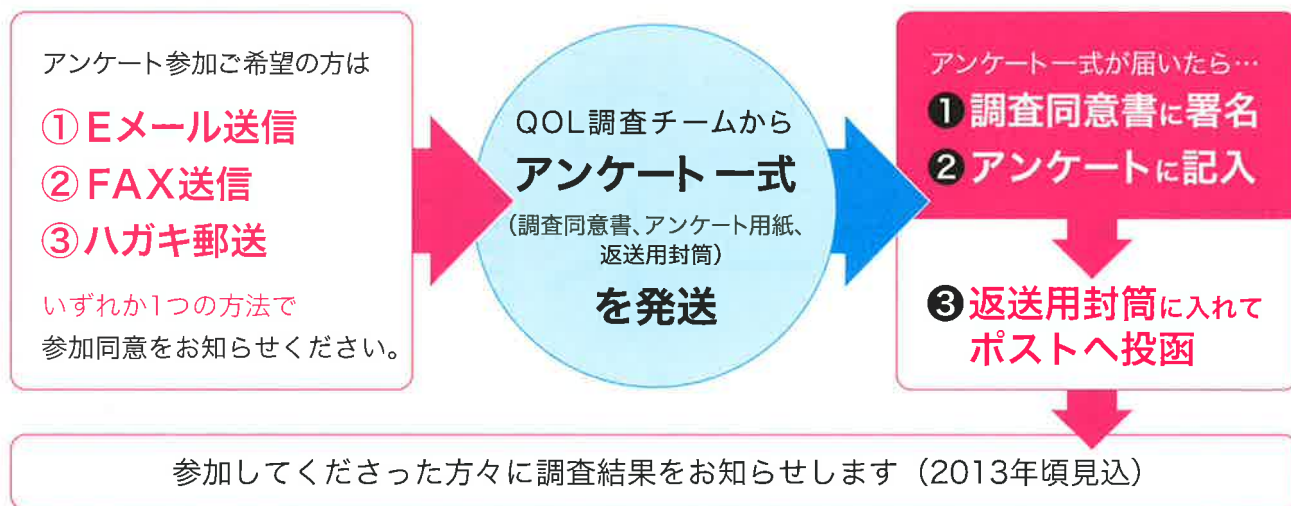
今回、私たちは、急性白血病の治療を受けられた患者さんにご協力いただいて、退院後の生活の質(quality of life: QOL)の調査を始めようとしています。国立がん研究センター中央病院の急性白血病QOL調査チームから郵送でお送りするいくつかの質問に答えていただくものです。

結果は調査期間終了後2013年頃に、アンケートに参加してくださった方々に郵送等でお知らせします。沢山の患者さんが同じ事柄で困っているとしたら、それをサポートする社会の体制を整える活動を始めるきっかけになるかも知れません。また、私たち医師・看護師は、この結果を将来の患者さんたちのためにも役立てたいと思います。

自由回答のアンケート調査です。ぜひご参加ください。そしてお近くにかつて急性白血病の治療を受けた方がいらっしゃいましたら、本調査にご協力いただけるよう、お声をかけてください。

- 参加対象者／急性白血病(急性骨髄性白血病・急性リンパ性白血病)を経験された患者さんのうち、
現在20歳以上の方。年齢の上限はありません。
- アンケート調査期間／2011年8月から1年間(2012年7月末日アンケート参加受付分まで)

【調査のながれ】



国立がん研究センター中央病院 急性白血病QOL調査チーム

医師／福田隆浩 黒澤彩子 〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 ☎03-3542-2511(代表)

※この研究はQOL調査のみで、病状に関するご相談をお受けするものではありません。



① Eメール送信 QOL.chosa@gmail.com

件名を「QOL調査 参加希望」とし、●お名前(よみがな) ●ご住所(郵便番号) ●お電話 を上記アドレスに送信してください。追ってQOLアンケート一式を郵送いたします。

② FAX 送信 03・3542・3815

●お名前 ●ご住所 ●お電話 をお書き込みのうえ、用紙を左の〈キリトリ〉線で切り離し、この面をFAX送信してください。追ってQOLアンケート一式を郵送いたします。

※用紙の厚みで読み取りが困難と思われる場合は無理に送信せず、この用紙を薄い紙にコピーしてお送りいただくか、下のハガキにてお申し込みください。

ふりがな

●お名前

●ご住所 (〒)

●お電話

送信面

③ ハガキ 郵送

(キリトリ)

アンケートを送信先			
郵便番号	ご住所	ふりがな	お名前
〒			

(キリトリ)

●お名前 ●ご住所 ●お電話 をご記入のうえ、用紙を〈キリトリ〉線で切り離し、このままポストに投函してください。追ってQOLアンケート一式を郵送いたします。

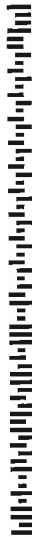
郵便はがき

104 8782
904

(受取人)

東京都中央区築地 5-1-1
国立がん研究センター
中央病院 医局
急性白血病
QOL調査チーム 行

行



(キリトリ)

(じしやう)



国立がん研究センター中央病院 急性白血病QOL調査チーム

料金受取人払郵便

晴海支店承認

9228

差出有効期間
平成25年3月
31日まで

(切手を貼らずに
ご郵下下さい。)